



手漉和紙(三極紙)

指定区分	県指定重要無形文化財
読みかた	てすきわし(みつまたし)
所在地	津山市上横野
指定年月日	令和2年3月13日
解説	津山市上横野では、明治時代中頃から三極(みつまた)を原料とした三極紙の生産が普及する。三極紙は、三極の刈り取りから韌皮(じんぴ)繊維の取り出し、紙料とするための裁断、流し漉き、板干しという工程で製作する。
アクセス方法	中国自動車道 津山、院庄各ICから車で約30分
公開状況	常時公開 (事前に連絡をすることが望ましい)
設備	<div style="display: flex; align-items: center; gap: 20px;"> <span>駐車場</span>  <span>トイレ</span>  </div>
備考	【保持者】上田繁男(上田手漉和紙工場)

## きつずページ

していくぶん (指定区分)	県指定重要無形文化財
ぶんかざいめい (文化財名)	手漉和紙(三極紙)
よみかた	てすきわし(みつまたし)
しょざいち (所在地)	津山市上横野
とうろくしたひ (登録した日)	令和2年3月13日
せつめい	津山市上横野では、明治時代中頃から三極(みつまた)を原料とした三極紙の生産が普及しました。三極紙は、三極の刈り取りから韌皮(じんぴ)繊維の取り出し、紙料とするための裁断、流し漉(す)き、板干しという工程で製作するものです。